

令和元年度
教育委員会事務の点検及び評価
報告書

令和2年6月
橋本市教育委員会

はじめに

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、教育委員会が行う事務として、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」が新たに規定されました。

橋本市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明を果たすため、有識者会議を設置し、教育委員会事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、橋本市教育委員会ホームページで公表しています。

点検及び評価の実施を通じて施策の効果を検証し、絶えず改善を図りながら、教育施策の着実な推進に努めてまいりたいと考えていますので、市民の皆様の一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

令和2年6月

橋本市教育委員会

目次

I 本市における点検及び評価について

1 点検及び評価の目的	1
2 点検及び評価の対象	1
3 点検及び評価結果の構成	1
4 学識経験者の知見の活用	1
5 議会への提出及び公表	1

II 教育施策の点検及び評価

第2期橋本市教育大綱	2
------------	---

各重点的な取組の評価シート

1. 豊かな心を育みます

- (1) 「教育は家庭から」の理念に基づいて、関係機関が連携して家庭教育支援を推進する。…3
- (2) 家庭、学校、地域での人権意識の高揚に努める。 …7
- (3) 態度教育（あいさつ、返事、後片付け、食事のマナー、立腰等）を推進するとともに、
道徳性を育てる。 …10
- (4) 地域文化や芸術、スポーツを楽しむ場を提供する。 …13
- (5) 多様な活動を通して、自然との触れあいに努める。 …15
- (6) ふるさと学習を推進し、郷土愛を育てる。 …17

2. 多様な学びと健やかな体を育みます

- (1) 基礎学力を基盤とし、主体的・対話的で深い学びを推進する。 …18
- (2) 学校・公民館等を拠点として、多様性・共同性の学びを推進する。 …21
- (3) 保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校の連携充実に努める。 …23
- (4) より良い学びの場のための教育環境を整える。 …24
- (5) 文化施設・社会体育施設（学びとスポーツを楽しむ場）の充実に努める。 …26
- (6) 持続可能な社会の担い手を育む教育（環境・人権・平和・キャリア・防災・福祉・国際
理解等）を推進する。 …28
- (7) 読書活動の推進に向けて環境を整える。 …29
- (8) 食の大切さの学びを推進する。 …32

3. 地域・家庭・学校の連携を育みます

- (1) 共育コミュニティの活動を通じて、地域の活性化を推進する。 …33
- (2) 地域の教育力を学校運営に生かすために、コミュニティスクールの充実に努める。 …34
- (3) 共育コミュニティとコミュニティスクールが協働し、元気なまちづくりを推進する。 …37
- (4) 教育と福祉が連携し、安全・安心、学びあいのまちづくりを推進する。 …39

III 教育委員会の活動状況

1 橋本市教育委員会機構図	42
2 教育委員会の会議等の活動状況	
(1) 橋本市教育委員会委員	43
(2) 教育委員会会議の開催状況	43
(3) 教育委員の活動状況	43
(4) 教育功労賞	43

IV 関連資料

1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）抜粋	44
2 教育委員会事務の点検及び評価実施要綱	44

I 本市における点検及び評価について

1 点検及び評価の目的

教育委員会は、毎年、教育に関する事務が橋本市教育施策の方針に基づいて適切に実施されているか点検するとともに、その成果及び課題等について自ら評価することにより、効果的な教育行政の一層の推進を図ります。点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、議会に提出して、公表することにより、市民への説明責任を果たし、信頼される教育行政を推進します。

2 点検及び評価の対象

令和元年度の「第2期橋本市教育大綱」の基本方針と重点目標の取組状況について、点検及び評価を行います。

3 点検及び評価結果の構成

○ 施策の柱

「第2期橋本市教育大綱」における18の重点目標

○ 重点的な取組

基本方針の柱ごとの目標を達成するための49の重点的な取組について「評価シート」を作成し、その具体的な施策、指標、令和元年度の目標・実績・評価、課題・今後の方向性を記載しています。

○ 課題・今後の方向性

令和元年度の点検及び評価の結果を踏まえ、目標の達成に向けた課題と今後の対応や方向を示しています。

4 学識経験者の知見の活用

点検及び評価についての客観性・公平性を確保するため、令和2年5月18日に会議を開催し、共育コミュニティに関する点検及び評価について御意見をいただきました。

◎教育委員会事務の点検及び評価に係る有識者会議委員名簿

氏名	役職等
いぬい こうはち 乾 幸八	橋本市区長連合会会長
かつらはら まさふみ 葛原 昌文	和歌山大学教育学部 教職キャリア支援室客員教授

(順不同・敬称略)

5 議会への提出及び公表

令和2年6月議会に報告書を提出するとともに、橋本市教育委員会のホームページに掲載します。

<http://www.chw.jp/shisei/kyoikuiinkai/sesaku/tenken.html>

第2期橋本市教育大綱

[理念] 人が学びあい、共に育むまちづくり

－自治と協働のまち橋本市に向けて－

[基本方針と重点目標]

1. 豊かな心を育みます

- (1) 「教育は家庭から」の理念に基づいて、関係機関が連携して家庭教育支援を推進する。
- (2) 家庭、学校、地域での人権意識の高揚に努める。
- (3) 態度教育（あいさつ、返事、後片付け、食事のマナー、立腰等）を推進するとともに、道徳性を育てる。
- (4) 地域文化や芸術、スポーツを楽しむ場を提供する。
- (5) 多様な活動を通して、自然との触れあいに努める。
- (6) ふるさと学習を推進し、郷土愛を育てる。

2. 多様な学びと健やかな体を育みます

- (1) 基礎学力を基盤とし、主体的・対話的で深い学びを推進する。
- (2) 学校・公民館等を拠点として、多様性・共同性の学びを推進する。
- (3) 保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校の連携充実に努める。
- (4) より良い学びの場のための教育環境を整える。
- (5) 文化施設・社会体育施設（学びとスポーツを楽しむ場）の充実に努める。
- (6) 持続可能な社会の担い手を育む教育（環境・人権・平和・キャリア・防災・福祉・国際理解等）を推進する。
- (7) 読書活動の推進に向けて環境を整える。
- (8) 食の大切さの学びを推進する。

3. 地域・家庭・学校の連携を育みます

- (1) 共育コミュニティの活動を通じて、地域の活性化を推進する。
- (2) 地域の教育力を学校運営に生かすために、コミュニティスクールの充実に努める。
- (3) 共育コミュニティとコミュニティスクールが協働し、元気なまちづくりを推進する。
- (4) 教育と福祉が連携し、安全・安心、学びあいのまちづくりを推進する。

令和元年度 教育委員会事務の点検及び評価「評価シート」

重点的な取組	No. 1	子育て、親育ち講座の充実を図ります。
	1-(1)-①	
担当部署	生涯学習課	
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭における子育てのあり方について、就学前並びに小学校低学年の保護者を対象に講座等を開催します。 ・子育てをテーマとして、「子育て講座」を開催します。 ・学校・福祉部局等の関係機関と連携のもと、子育てのあり方について考え、子どもの成長・発達を社会全体で見守る地域コミュニティづくりをめざし、子どもを取巻くよりよい教育環境の向上に努めます。 ・地域支援者の養成に努めます。 ・保護者が子育てに喜びを感じられるように働きかけます。 	
成果指標①	指標名・内容	地域支援者養成講座・子育て支援講座の実施
	令和元年度の目標	地域で子育て支援をすることに興味を持ってもらえるよう、内容を考え前年度と同様に地域支援者養成講座・子育て支援講座を開催する。
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度地域支援者養成講座を1回開催、参加者は22名。 ・子育て支援講座を2回開催。参加者は90名。 ・本年度は、地域住民が子育てに関心を持ち、積極的にかかわろうとする意識を培い、「地域の担い手」を育成することを目的に講座を開いた。 ・幅広い世代からの参加があった。アンケート結果からは、「子どもとの時間を大切にしたいと思った」「大変参考になった、また参加したい」などの声を多く聞くことができた。
	評価	<p style="text-align: center;">B A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代からの参加があり、アンケートの結果からも前向きな意見が多くみられたが、参加者数が少ない講座もあったため、周知等が不十分であったと感じる。
成果指標②	指標名・内容	保護者間のつながりづくり
	令和元年度の目標	開催回数は、現状維持とし、保護者同士のつながりができるよう、関係機関と園が連携して講座等の内容を工夫する。
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援チームによる講座を87回開催（就学時健診含む）。 ・保護者同士のつながりづくりを中心に講座を展開した。 ・特に就学時健診時のワークにより、知り合いのいない保護者にとっては不安が軽減されたとのアンケート結果も得た。
	評価	<p style="text-align: center;">A A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度も、昨年と同様の数の講座依頼が見込まれている。就学児健診では、「初めて顔を合わせ保護者と交流できてよかった」「近所に同じ年の子がいると思うと安心できた」など就学児健診を通じて保護者同士の繋がりづくりが講座を通じ行えた。
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域支援者養成講座については、地域の担い手を育成することを目的に開催し、参加者数を増やすために周知方法等を検討していく。 ・就学児健診時による保護者同士のつながりづくりについては、依頼がある限り今後も実施していきたい。 	

重点的な取組	No.2	教育相談センターを中心として、子育て世代包括支援センター「ハートブリッジ」など各専門機関と連携し、支援を行います。	
	1-(1)-②		
担当部署	教育相談センター、青少年センター		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を整理し、問題解決に向けての有効な支援を検討します。 ・学校・福祉機関(子育て世代包括支援センター「ハートブリッジ」)や医療機関等と連携して、効果的な支援を行います。 ・子育て世代包括支援センター「ハートブリッジ」と連携を図り、課題を検討するケース会議を活用します。 ・臨床心理士等の専門家による支援を行います。 		
成果指標①	指標名・内容	長期欠席児童生徒数(不登校児童生徒数を含む)の低減	
	令和元年度の目標	平成30年度長期欠席児童生徒数より10%減(115名を104名に、うち不登校児童生徒数70名を63名)に取り組む。	
	令和元年度の実績	令和元年度長期欠席児童生徒数が120人(うち、不登校児童生徒数が77人)であった。小学校が46人から37人と減少し、中学校が69人から83人と増加した。実績からも小学校はもとより、特に中学校における長期欠席生徒の学校復帰に向けての相談活動を実施してきたが不十分であった。	
	評価	C	A:達成 B:概ね達成 C:不十分 D:未達成
		学校と家庭への支援、及び福祉部局等関係機関との連携を行い、より多角的・総合的に対応するとともに、迅速に効率よく対応することを心掛けてきた。さらに、学校や福祉(ハートブリッジ)との連携を密にし、強化する必要があった。	
成果指標②	指標名・内容	不登校児童生徒の受け入れ	
	令和元年度の目標	社会的自立や学校復帰を目指した適応教室の充実を図る	
	令和元年度の実績	適応教室への利用について、開室日が172日、その全ての172日に利用生があり、延べ432人が利用した。ボランティアを含め指導員(2名)が、集団活動を通じて社会性という適応力つけていくための努力を重ねてきた賜物であった。結果として学校復帰や進学を果たせ生徒が数人あり、概ね達成した。	
	評価	A	A:達成 B:概ね達成 C:不十分 D:未達成
		指導員の適切な関わりとボランティアの応援により、適応教室の利用生の数人が復帰・進学するとともに、利用生の全員が何らかの心の成長をとげた。	
成果指標③	指標名・内容	教育相談の充実、教職員に対する支援の充実	
	令和元年度の目標	子ども・保護者に対する心理的支援の充実を図る。学校教育と心理の双方に関する専門的知識を持った教職員の育成を行う。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・年間相談件数481件2,094回、うち派遣(学校訪問)による教職員に対する助言をのべ1,381回実施した。 ・夏季休業中に大学教授を講師に招き教職員対象の事例研究を実施し25名の教員の参加があった。 	
	評価	A	A:達成 B:概ね達成 C:不十分 D:未達成
		来所及び派遣により、心理的不適応児童生徒及びその保護者への支援ができた。また、派遣相談と夏季研修に教職員の資質向上に寄与した。	

成果指標④	指標名・内容	非行防止活動の実施	
	令和元年度の目標	補導件数が増加する長期休業中の補導活動を強化する。	
	令和元年度の実績	・学校・警察・青少年センター連絡協議会及び橋本市青少年補導員会と連携し22回の補導活動を実施した。	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
課題・今後の方向性	・各学校及び関係機関と連携し、補導活動ができた。		
課題・今後の方向性	・各学校及び関係機関とともに、協力体制を強化しながら補導活動を充実させる。		

重点的な取組	No.3	学校・家庭・地域・関係機関との連携を深め、青少年非行の未然防止活動に努めます。	
	1-(1)-③		
担当部署	青少年センター		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・橋本市青少年補導員・学校教職員と協力し、夜間や長期休業中、夏祭り、秋祭り、夜店等の補導活動を行います。 ・不安を持つ青少年、保護者、学校等からの来所・メールによる相談を受理し必要に応じて専門機関と共同での指導や連携を行います。 ・有害図書を「やぎの箱」で回収するとともに、各商店や大型量販店、遊戯場等に協力要請を行います。 ・事故防止、環境浄化等の看板を作製設置します。 ・少年に関する情報や資料を収集し、センターだよりやちらし、看板、オリジナル教材等による啓発活動を行います。 ・善行児童生徒の表彰を行います。 ・非行少年等の立ち直りを支援します。 ・学校・警察・青少年補導員会等と情報交換を行い、必要に応じて研修を行います。 ・近畿・県・紀北地区青少年センター連絡協議会等との情報交換や研修を行います。 		
成果指標①	指標名・内容	立ち直り支援の充実	
	令和元年度の目標	青少年の心情を吐露することの出来る場を提供し、精神的な安定を図る。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・立ち直り支援、精神的な安定を大切にしたい召致指導を9回のべ3人に対して実施した。 ・継続的な指導を実施することで、青少年だけでなく保護者にとっても精神的な安定を得られる場所になっている。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		・継続的な立ち直り支援を含め、青少年・保護者への指導助言をおこなった。	
成果指標②	指標名・内容	環境浄化活動の実施	
	令和元年度の目標	引き続き回収を行う。	
	令和元年度の実績	・有害図書（雑誌・DVD等）128点、一般図書64点回収し処分した。	

	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		・4つの駅を中心に月に一度回収し処分をした	
課題・今後の方向性	立ち直り支援を含め、健全な青少年の育成のため環境浄化・相談活動をより充実させる。		

重点的な取組	No.4	橋本市家庭教育支援チーム事業を推進し、家庭教育支援の充実に努めます。	
	1-(1)-④		
担当部署	生涯学習課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・親の集まる場を設定し、「食育」「家読」などのテーマで語り合いを行います。 ・家庭教育情報誌「げんきっこfamily」を年4回発行します。 ・家庭訪問し、子育ての悩みを聞いたり、必要とする情報を提供したりすることで、親の子育ての不安が軽減できるよう努めます。 ・就学時健康診断の場を活用し、就学に対する不安や悩みの語り合いの機会を設けます。 		
成果指標①	指標名・内容	家庭訪問の実施	
	令和元年度の目標	不安や悩みをかかえたまま、孤立する家庭が1件でもなくなるように福祉部局と連携しながら家庭訪問を実施する。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭訪問は12家庭（うち5家庭は訪問終了） ・家庭訪問実施件数は75件（ケース会議は3回） 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		・今年度に入り、新規の個別相談が8件あった。広報及び福祉部局との連携強化により前年度より訪問過程を増やすことができた。	
成果指標②	指標名・内容	子育て・親支援講座の充実	
	令和元年度の目標	前年度と同様に、家庭教育支援チームによる親支援講座を開催する。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援チームへの各園・各校・公民館等からの依頼に基づき講座（就学時健診含む）を開催した。 ・保護者同士のつながりづくりを実施した。 ・前年度に引き続き、保育園・幼稚園・小学校・公民館等から講座の依頼があり、アンケート結果からは「息抜きの時間が持てた」「いいリフレッシュになった」などの意見が多く聞くことができた。 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		・様々な講座を展開することで多くの方々に参加していただくことができ、保護者同士のつながりや情報交換、不安解消につなげることができた。また、講座から個別相談へとつながったケースもあった。	
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘスティアが結成されてから10年以上経ち、今と昔では子育てに対する考えやニーズが大きく変化していると感じる。その中で、ヘスティアとして担う役割の再確認および明確化を図り、ニーズにあった支援が提供できるように考えていきたい。 		

重点的な取組	No.5	子ども館・児童館活動を充実させ、各種事業を実施します。
	1-(1)-⑤	
担当部署	生涯学習課	
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人格的な発達に必要な不可欠な「遊び」と「創造」の意義をふまえ、各館の事業の充実に努めます。 ・学校との連携を深め、移動児童館事業、学校授業への支援を充実します。 ・児童厚生員は積極的に研修に参加し、資質と力量の向上に努めます。 ・地域子ども会が子どもと親にとって、共に育ちの場となるよう支援します。 ・異年齢間の交流や中高生の居場所・子育て支援の場等、誰もが楽しく過ごせる安全安心な居場所を作ります。 	
成果指標①	指標名・内容	児童健全育成の場としての各種事業の実施
	令和元年度の目標	子ども館・児童館の事業については、児童生徒数は減少傾向にあるが事業参加者数は、例年と同等数を目指して企画する。
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各児童館の事業参加者は、 きしかみ子ども館 2,335名 はらだ子ども館 949名 友愛児童館 1,219名 名古屋児童館 2,221名 移動児童館・体育館 549名 授業 582名 夏休みこどもまつり 626名 ・各館で特色のある事業を企画し、年間計画を基に季節の行事や手作り教室・クッキング・遊び等の様々な催しを実施した。 ・移動児童館では、体育館実施・授業での季節の手作り教室共に市内の全14小学校で実施し、学校との連携も深まった。 ・子ども読書推進計画に基づき、図書室の環境を整えることができた。
	評価	<p style="text-align: center;">A A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安心安全な居場所であり、乳幼児から中高生世代・大人までの誰もが楽しく過ごせる児童館であるように環境を整え、切れ目のない支援ができる児童館として活動し、各館の事業に加え、学校に出向く移動児童館等の事業も全小学校で開催することができた。また、今年のテーマに沿って、地域との交流を大切にし、子どもにとって貴重な体験をすることもできた。
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒数が減少し、授業時数が増え、帰校時間が遅くなったこともあり、事業参加がしにくくなっている。各館の現状あわせ工夫をする必要がある。 	

重点的な取組	No.6	人権教育啓発教材の作成と活用を図り、人権教育の推進に努めます。
	1-(2)-①	
担当部署	生涯学習課	
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育学習資料の充実に努めます。 	
成果	指標名・内容	人権プロジェクトによる人権教育啓発資料の作成
	令和元年度の目標	作成した資料を全戸配布して、同和問題を橋本市で生活する全ての人々に気づき学んでもらう。

指標①	令和元年度の実績	・人権教育啓発資料について人権・男女共同推進室と連携して作成。平成31年4月に全戸配付した。		
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成	
課題・今後の方向性		・作成資料を全戸配布することで、橋本市全体に啓発の機会を作ることができた。		
		・人権プロジェクトによる人権教育啓発は、常に新しい情報を取り入れ、数々の人権課題の解消に向けて引き続き取組を行う。		

重点的な取組	No. 7	学校における人権教育の充実を図り、学級等の集団づくりの充実に努めます。	
	1-(2)-②		
担当部署	学校教育課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・「橋本市人権教育基本方針」に基づき、小・中学校では副読本「しあわせ」等を活用した計画的・系統的な人権教育を実施し、豊かな人権感覚を持った児童・生徒の育成に努めます。 ・望ましい集団活動を展開し、集団の中で自他の価値を見いだせる仲間づくり・学級づくりを推進します。 ・自己肯定感と思いやりの芽生えを育てます。 		
成果指標①	指標名・内容	学校における人権教育の充実	
	令和元年度の目標	各校の状況により計画の見直しを行い、人権教育の更なる充実を図る。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全小・中学校において人権教育全体計画を作成し、各校の状況に応じて重点課題を定めて人権学習の充実を図ることができた。 ・人権教育副教材「しあわせ」をはじめとする教材・資料を活用するとともに、外部人材からの講話や体験活動等とおして人権学習を進めることができた。 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
<ul style="list-style-type: none"> ・各校の状況に応じて適宜計画の見直しを行っており、人権教育の充実が図られている。 ・学校教育で活用している人権教育副教材「しあわせ」は、令和2年度に改訂を予定している。新たな人権課題等も踏まえ、児童生徒が幅広く人権について学べるような教材を選定していきたい。 			
成果指標②	指標名・内容	仲間づくり・学級づくりの推進	
	令和元年度の目標	新しい手法にも取り組んだり、活動内容を見直したりして、よりよい集団づくりを実現する。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学校生徒会交流会（橋本市生徒会連絡協議会主催）の企画・運営を支援し、参加生徒が学校のリーダーとしての意識を高め、他校の生徒との交流で経験したことを自校での活動につなげることができた。 ・教科等の授業においても、児童生徒同士が互いの発言を大切に、聞き合えるような授業づくりについて指導を行ない、実施を進めてきた。 ・園では日々の活動の振り返り（話し合い）や、友達と相談しながら遊びをつくり上げていくごっこ遊びなどを通して、友達の思いに気付いたり、自分の気持ちに折り合いを付けたりする姿、友達と思いを共有して活動することを楽しむ姿が見られた。 	

		A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
	評価	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の様々な場面において、学習の基盤となる学習集団の育成に努めた。 ・幼児の興味や関心の方向を手がかりに、幼児の思いを引き出し、友達同士でじっくりと話し合いながら楽しさを共有できる活動の工夫に努めた。 	
成果指標③	指標名・内容	異年齢の関わり	
	令和元年度の目標	現状の取組を継続し、自己肯定感や思いやりの気持ちの育ちにつなげる。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児や祖父母、地域の人との交流を年間計画に位置づけ、実施した。 ・異年齢で関わる活動を日常的に計画、実施した。年長児の姿に憧れ、興味を持って活動しようとする年下の幼児や、年下の幼児に視線を合わせて関わる年長児の姿が見られた。 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		<ul style="list-style-type: none"> ・教師の役割分担を明確にし、連携して取り組めた。 	
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児や地域の人等との交流では、互惠性のある活動内容となるように心掛ける。 ・異年齢の関わりによる幼児の育ちを、関わった人たちに丁寧に伝えていく。 		

重点的な取組	No.8	いじめの未然防止を図ります。	
	1-(2)-③		
担当部署	学校教育課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・人権教育や道徳教育等の充実を図り、児童生徒の人権意識の向上を図ります。 ・「橋本市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの早期発見・早期対応に努めるとともに、いじめを認知した場合は、教職員、保護者、地域住民、関係機関等との連携を図り、迅速かつ適切に対処します。 		
成果指標①	指標名・内容	いじめ認知件数の減少と解消率の向上	
	令和元年度の目標	いじめ未然防止のため、日頃から児童生徒の様子に目を配るとともに、アンケート等で認知した事案に対して素早く対応し解決する。 各校において、いじめに関する研修会を年1回以上開催する。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ認知件数986件、解決件数838件。 ・各校において年間1回以上のいじめに関する研修会を開催した。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		<ul style="list-style-type: none"> ・日頃より教職員全体で児童生徒の様子に目を配り、早期発見早期対応をおこなっている。いじめはどこの学校でも起こりうるものとの認識を持ち、積極的ないじめの認知に努めることができた。 ・いじめに関する研修等を積極的に実施し、いじめを見逃さないよう努力している。また、道徳教育等の充実を図り、人権意識向上のための実践をおこなった。 	
成果	指標名・内容	いじめの早期発見のためのアンケートの実施総数	
	令和元年度の目標	各校年間3回以上（実施総数57回以上）のアンケートを実施し、早期発見早期対応に努める。	

指標②	令和元年度の実績	・各校とも年間3回以上いじめに関するアンケートを実施した。	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
課題・今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・各校とも年間3回以上のアンケートを実施し、早期発見早期対応に努めることができた。 ・早期発見・早期対応できるよう、日頃から児童生徒に目を配る。また、アンケートについても年3回以上実施し、いじめが継続していないかを確認していく。 ・いじめはどこの学校でも起こりうるものとの認識を持ち、積極的ないじめの認知に引き続き取り組む。 	

重点的な取組	No.9	「人権講演会」などを開催し、人権教育の充実に努めます。
	1-(2)-④	
担当部署	中央公民館	
具体的な施策	・人権を尊重し、人権意識を高めるために、次の事業に取り組めます。	
成果指標①	指標名・内容	各地区公民館にて講演会や映画上映会への参加数
	令和元年度の目標	引き続き精力的に事業に取り組み、全職員参加を目指す。
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区公民館で人権講演会・映画上映会を共催で開催し、多数の参加者があった。 人権講演会(紀見) 164名 人権講演会(学文路) 109名 映画上映会(隅田) 157名 人権講演会(橋本) 73名 人権講演会(紀見北) 60名 人権講演会(山田) 42名 人権講演会(恋野) 81名 映画上映会(高野口) 312名 合計:998名
	評価	A
・講演会や映画上映会を開催し、参加者の人権意識の高揚に繋がった。		
課題・今後の方向性	・人権意識を高めるために今後も引き続き事業に取り組んでいく。	

重点的な取組	No.10	道徳教育の推進に努めます。
	1-(3)-①	
担当部署	学校教育課	
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育において、子どもの実態を踏まえ、学校や学年の段階ごとに道徳の時間を中心に取り組みます。 ・道徳教育の充実に向けて、授業改善等の研修を行います。 ・家庭や地域の方々との連携を図りながら、道徳性の育成に努めます。 	
指標名・内容	各校における道徳教育の年間計画作成とその実施	

成果指標①	令和元年度の目標	年間指導計画を見直す。	
	令和元年度の実績	・各小・中学校において年間指導計画や別様（各教科との関連）を見直すことができた。	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
・小学校では、「特別の教科 道徳」の本格実施に伴い、新しい内容項目に沿った年間指導計画や別葉を作成することができた。			
成果指標②	指標名・内容	道徳の研修会等の実施	
	令和元年度の目標	道徳教育研修会を年間1回以上実施する。	
	令和元年度の実績	・道徳教育研修会を夏季休暇中実施し、伊都地方の先生方が約100人参加した。 ・学校によっては、道徳科の研修を自校で実施しているところもあった。	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
・広く伊都地方の先生方にまで声をかけたため、大勢の参加となった。「特別の教科 道徳」の授業づくりと評価について、先生方の関心が高く、大勢の参加となり、充実した研修会だった。			
成果指標③	指標名・内容	基本的な生活習慣の確立	
	令和元年度の目標	学校と家庭が連携して、早寝・早起き・朝ご飯の推奨、授業規律の徹底、挨拶運動・清掃活動を推進する。 道徳の時間等により規範意識を高める。	
	令和元年度の実績	・昨年度と比較すると、「朝ごはんを毎日食べる」「決まった時間に寝て起きる」「学校の決まりを守る」に向上が見られた。 ・各小・中学校において児童会・生徒会活動で挨拶運動を実施した。	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
・「朝ごはんを毎日食べる」「決まった時間に寝て起きる」「学校の決まりを守る」については、小学校では全国を上回り、中学校もほぼ同水準となっている。 ・授業規律については、どの先生も同じやり方で授業が行えるように「スタンダード」を作成している学校もあり、組織的に取り組むことで規律の徹底が図れていた。			
課題・今後の方向性	・「特別の教科 道徳」の本格実施が、小学校では平成30年度、中学校では令和元年度からとなっており、それに向けての授業改善や教材解釈等についての研修を重点的に数年間行ってきたが、一定の成果があった。今後は、各校における道徳科の授業づくりや評価について研究を充実させていく。		

重点的な取組	No.11	中学生ボランティア・青年リーダーの育成に努めます。
	1-(3)-②	
担当部署	生涯学習課	
具体的な施策	・子どもの校外活動を促進するとともに、青年リーダーの育成に努めます。 ・中学生ボランティア・青年リーダー活動を推進します。	

成果指標①	指標名・内容	青年リーダーによる研修会の開催、次世代の青年リーダー候補の育成	
	令和元年度の目標	青年リーダー40名 中学生ボランティア40名 引き続き事業として「子ども冒険村」「ジュニアリーダー研修会」を実施する。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・青年リーダー：橋本高校で会員募集説明会を実施。会員39名。 ・中学生ボランティア：会員21名。 ・子ども冒険村：参加者小学5年生59名、青年リーダー27名 ・ジュニアリーダー研修会：新型コロナウイルス感染防止のため中止 ・中学生ボランティア交流会：参加者中ボラ5名、青年リーダー10名 ・中学生ボランティア研修会：参加者中ボラ4名、青年リーダー5名 	
	評価	C	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・会員のモチベーションの維持や魅力的ある活動にしていくことを今後の活動に繋がるため活動方針を検討していく。持続的な活動を今後も継続していきたい。 		

重点的な取組	No.1 2	態度教育の推進に努めます。	
	1-(3)-③		
担当部署	学校教育課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園・幼稚園・こども園・小学校・中学校が連携し、就学前教育から積極的に態度教育に取り組みます。 ・学校教育において、保護者や地域の方々と連携を図り、子どもの発達段階に応じた態度教育を進めます。 		
成果指標①	指標名・内容	大人が手本となって態度教育を推進	
	令和元年度の目標	園と家庭が連携しながら、保育者や保護者が手本となる態度（あいさつ、返事、食事のマナー等）を示し、子どもが身に付けられるようにする。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・園便りや懇談会等を通じて、保護者の協力が得られるよう働きかけた。 ・園外活動や来園者と接する機会では、保育者が率先してあいさつや会話を交わす姿を見て子どもも親しみを持ってあいさつ等を交わすことができた。 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者への効果的な働きかけについて研究する。 		

重点的な取組	No.1 3	文化財の保護活用に努めます。	
	1-(4)-①		
担当部署	生涯学習課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・指定文化財や埋蔵文化財等の保護と調査・活用に努めます。 ・郷土資料館で企画展、講座を開催し、地域学習の機会提供に努めます。 ・あさもよし歴史館で企画展、体験教室を開催し、文化財への関心を高め、理解を深めるための講座を開催します。 		
成果指標①	指標名・内容	指定文化財及び埋蔵文化財の保護活用の推進	
	令和元年度の目標	指定文化財の増加に努めるとともに、文化財への理解・活用に努める。	
	令和元年度の実績	・文化財指定等件数は世界遺産1件、国指定4件、国登録24件、県指定30件、市指定67件。	
	評価	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・市指定の柏原文書が県指定文化財となった ・利生護国寺山門が国の登録文化財となった。 	A
A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成		
成果指標②	指標名・内容	郷土資料館における、地域学習の場としての各種事業の実施	
	令和元年度の目標	展示・講座の内容を工夫し、地域学習の推進を図る。	
	令和元年度の実績	・企画展示、講座等を実施し、令和元年度の利用者数は4,782人。	
	評価	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成</td> </tr> </table> <p>地域に根ざした企画展示・講座等を開催し、参加者から評価を得ている。 (例年に比べ利用者数が減少しているが、3月に開催している雛人形の展示が新型コロナウイルス感染症予防対策のにより中止となったためである)</p>	B
B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成		
成果指標③	指標名・内容	あさもよし歴史館における、文化財(考古資料)への関心の向上および理解の深化のための各種事業の実施	
	令和元年度の目標	展示・講座・体験教室の内容を工夫し、一層の文化財理解に繋げる。	
	令和元年度の実績	・企画展示、講座、体験学習等を実施。令和元年度の入館者数は調査中(R2.4.28時点)	
	評価	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマを定めて企画展示・講座の開催に取り組んでいる。特に、夏の勾玉づくり等の体験学習は多くの参加者から好評を得ている。 	B
B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成		
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市内の文化財の保護活用に努める。 ・郷土資料館とあさもよし歴史館の統合に向けて、令和2年度にあさもよし歴史館の資料整理を進める。 		

重点的な取組	No.1 4	芸術文化の振興に努めます。
	1-(4)-②	
担当部署	生涯学習課	

具体的な施策	・市内の文化団体と協力し、橋本市の文化・芸術の維持向上に努めます。				
成果指標①	指標名・内容	橋本市民総合文化祭の開催及び参加者数			
	令和元年度の目標	橋本市民総合文化祭を開催し、芸術文化振興をはかる			
	令和元年度の実績	・令和元年11月2日～4日の3日間にわたり、橋本市民総合文化祭を開催し、約2,000人の来場者数を得た。			
	評価	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・概ね例年と同様の来場者数を得た。</td> </tr> </table>	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成	・概ね例年と同様の来場者数を得た。
B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成				
・概ね例年と同様の来場者数を得た。					
成果指標②	指標名・内容	県展橋本展への参加者数			
	令和元年度の目標	明確なテーマをもって取組み、来場者数増加を目指す。			
	令和元年度の実績	・令和元年12月7日～11日の5日間に渡り、県展橋本展を開催。834人の来場者があった。			
	評価	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・概ね例年と同様の来場者数を得た。</td> </tr> </table>	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成	・概ね例年と同様の来場者数を得た。
B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成				
・概ね例年と同様の来場者数を得た。					
課題・今後の方向性	・2021年に国民文化祭が和歌山県で開催されることもあり、今まで以上に芸術・文化の振興に努める必要がある。				

重点的な取組	No.15	スポーツに親しむ場を提供します。			
	1-(4)-③				
担当部署	生涯学習課				
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・体育施設の充実及び利用促進を図ります。 ・和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会への参加、小・中学校と連携した選手の育成に努めます。 ・橋本マラソンを開催し、出場者にはスポーツ大会に参加することの喜び・応援者には人のがんばりを喜びと感じる精神を養います。 				
成果指標①	指標名・内容	市民の健康の増進及び、体育の向上を図る取り組み			
	令和元年度の目標	体育施設の貸し出しについて、ホームページ等で周知し、市民が気軽に運動に取り組めるような環境を作る。			
	令和元年度の実績	・平成30年度における施設利用者数は、無料施設で104,591人、有料施設で172,859人であったのに対し、令和元年度の施設利用者数は、無料施設で133,234人、有料施設で159,161人であった。			
	評価	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・新型コロナウイルスのより、屋内施設の利用を停止したため利用者数が減少した。</td> </tr> </table>	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成	・新型コロナウイルスのより、屋内施設の利用を停止したため利用者数が減少した。
B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成				
・新型コロナウイルスのより、屋内施設の利用を停止したため利用者数が減少した。					
指標名・内容	ジュニア駅伝上位入賞に向けた取組				

成果指標②	令和元年度の目標	スポーツ推進計画で定めた3位を目標とし、選手の力を最大に引き出すよう練習に取り組む。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・11月と12月は、土・日曜日に練習を実施。1月と2月は水・土・日曜日で練習を実施。 ・第19回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会（2月16日開催）に出場し、県内29市町中第6位の成績であった。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		順位は目標の3位までは一步届かなかったが、1時間12分45秒というタイムでの入賞となった。大会順位は、その時々選手や他の市町の状況に左右されるため、大会順位という結果だけでなく、大会までの練習やその取り組みをいかに効率よくかつ充実できるかを考えていく。	
成果指標③	指標名・内容	橋本マラソンの参加人数拡大への取組	
	令和元年度の目標	広く広報活動を行い、スポーツ推進計画で定めた2,500人を目指す。	
	令和元年度の実績	・エントリーは1,350人であった。	
	評価	C	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		・マラソン大会の種目、コース等全体的に見直しを検討する必要がある。	
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニア駅伝に関して、市内の小・中学生の生徒数が減少するとともに、各個人の所属するスポーツクラブとの関係からジュニア駅伝に出場する選手の確保が困難になってきている。11月から2月上旬まで毎土曜日小学3・4年生を対象に走り方教室を実施し、未来の駅伝選手の発掘に努める。 		

重点的な取組	No.16	自然と触れ合える体験活動の充実を図ります。
	1-(5)-①	
担当部署	学校教育課、生涯学習課	
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育において、体験活動を取り入れた環境教育を充実させ、一人一人が環境を大切に思う気持ちを育みます。 ・園においては、散歩や園外活動、飼育・栽培活動等を通して自然に触れ、豊かな感情を育てます。 ・「子ども冒険村」などの自然体験事業を促進します。 ・希少種の保護に取組み、環境学習の推進に努めます。 	
成果指標①	指標名・内容	学校教育における体験活動を取り入れた環境学習の実施
	令和元年度の目標	内容を充実させるとともに実施校数の増加を目指す。
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校における（県）緑育推進事業の実施を支援。実施校も年々増加しており、今年度は10校13学年で実施し、次年度は12校20学年での実施を計画している。 ・各学校においても、環境保全に関する施設見学や校区内清掃等を通じて、身近なところから体験活動を取り入れて環境について学習する機会を設け、児童生徒の環境に対する意識向上に努めた。

	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		・学校教育における体験活動を取り入れた環境学習を充実させることができた。	
成果指標②	指標名・内容	園外活動、飼育・栽培活動の充実	
	令和元年度の目標	豊かな感情や言葉の育ち、興味・関心といった学びにつながる力を意識し、計画性をもって活動する。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の同じ場所を季節ごとに繰り返し訪れることで、自然の変化に気付いたり、疑問に感じたことを図鑑などで調べようとしたりする姿につながった。 ・飼育・栽培活動を通して、幼児なりの責任感をもって活動できた。 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		・一人の気付きを友達や仲間に言葉や態度で伝えられるような保育者の関わりにより、体験や思いを共有し、次回の活動への意欲につながった。	
成果指標③	指標名・内容	「子ども冒険村」等の自然体験事業の実施	
	令和元年度の目標	状況に応じた中で、安全面も考慮した最大人数で実施していきたい。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・青年リーダーの経験者が増えたことにより、定員を55→60名に増やした。 ・申込者74名を定員60名に抽選した。体調不良のため1名不参加となり59名が参加した。 ・昨年に引き続き熱中症対策をし、参加者の健康と安全を最大限考慮した運営をおこなうことができた。 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		・暑さ指数の計測しながら、伊都看護師協会の協力のもと健康と安全面を重視した対応をとることにより、自然体験の事業を実施できた。	
成果指標④	指標名・内容	希少種保護と環境学習の推進	
	令和元年度の目標	希少種ヒメタイコウチの保全方策を策定していく。	
	令和元年度の実績	・天然記念物としてヒメタイコウチ生息地が指定されている自治体に施策について調査するとともに、市文化財保護審議会にこれを報告し、その方策について審議いただいた。今の段階では経過を観察していくことが望ましいとの審議会意見を受け、毎年生息調査を実施している。	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		審議会の意見に基づき、継続的に生息調査を実施している。	
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動等については、園外活動の下見、安全面の配慮等についての事前打ち合わせを引き続き丁寧に行い実施する。 ・「子ども冒険村」等の自然体験事業の実施については、子どもが減少している中でも、依然として募集定員を満たしている。今後も魅力ある事業として継続していきたい。 ・希少種保護については、ヒメタイコウチ生息地のある他自治体の動向とともに、管内生息地の継続的な生息調査により経過を観察していきたい。 		

重点的な取組	No.17	郷土の偉人の足跡を紹介し、郷土愛を育みます。	
	1-(6)-①		
担当部署	生涯学習課		
具体的な施策	・(仮称)岡潔記念館整備に向け、「岡潔博士顕彰事業」を開催します。		
成果指標①	指標名・内容	(仮称)岡潔記念館の整備	
	令和元年度の目標	記念館の整備と業績の顕彰に努める。	
	令和元年度の実績	・岡潔顕彰寄附金として7名の方から合計金額65,000円の寄附金をいただいた。	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
・クラウドファンディング含め、寄付をいただいた。			
成果指標②	指標名・内容	岡潔博士顕彰事業の推進	
	令和元年度の目標	顕彰講演会を開催し、広報活動に努め、来場者数の増加を図る。	
	令和元年度の実績	・岡潔博士の関係者を招いた講演会を開催し、187名の来場があった。	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
・例年と同様の来場者数を得た。			
課題・今後の方向性	・多数の方に岡潔博士の業績を知っていただけるよう、引き続き岡潔博士の顕彰事業を行う。また(仮称)岡潔記念館の整備に向け取り組んでいく。		

重点的な取組	No.18	ふるさと学習のカリキュラムを作成します。	
	1-(6)-②		
担当部署	学校教育課		
具体的な施策	・ふるさと教育副読本である「ふるさと橋本学」を用いての学習の充実をめざします。		
成果指標①	指標名・内容	「ふるさと学習」の充実	
	令和元年度の目標	昨年度作成した地域の特色を生かした年間カリキュラムを実践にうつす。	
	令和元年度の実績	・年間カリキュラムにそって、各学校で「ふるさと学習」が行われた。学校によっては、各地域の特色あるふるさと学習が行われており、地域おこしにも役立ったところもあった。	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
・小学校においては、地域学習が盛んであり、ふるさと学習ができているが、中学校においては、授業時間の確保が難しい現状がある。			

課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと学習副読本「ふるさと橋本学」DVD版を平成29年度に完成させ、中学校区ごとの年間カリキュラムを平成30年度に完成させた。しかし、「ふるさと橋本学」を行う際に、DVDを活用することは、先生方にひと手間かかるためか、進んでいない。今後、先生が手軽に扱いやすい形での「ふるさと学副読本」の作成を進める必要がある。
------------------	--

重点的な取組	No.19	学力向上に努めます。	
	2-(1)-①		
担当部署	学校教育課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・(市)標準学力調査の実施とその結果分析から市や各校の課題を明らかにし、課題解決に向けて具体的に取り組みます。 ・学校において授業改善を図り、児童生徒の主体的な学びを目指します。(ユニバーサルデザイン化、共同的な学び、ICTの活用等、個々に応じた教育的配慮等) ・家庭学習を充実させるよう取り組みます。 ・外国語活動の推進と外国語教育の充実を図ります。 ・園においては主体的に遊ぶための環境構成の充実に努めます。 		
成果指標①	指標名・内容	各校における(市)標準学力調査の経年変化及び課題への対応	
	令和元年度の目標	4月に学力調査を実施し、課題を明らかにするとともに、10月実施の(県)学習到達度調査で県平均を上回る。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・4月に学力調査を実施し、結果分析会を開催して市内全体の傾向、各校の傾向について分析を行った。本市では、家庭学習の習慣化が課題であり、各校の担当者を集めて、市内外の先進的な取組について情報共有を図った。 ・10月実施の(県)学習到達度調査(対象:小4・5、中1、2)では県平均を下回ってしまったが、その差はすべて5%以内とわずかなものである。 	
	評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 30%;">C</td> <td style="text-align: center;">A:達成 B:概ね達成 C:不十分 D:未達成</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な取組を実施してきたこともあり、(市)標準学力調査の結果は年々向上している。 ・家庭学習の習慣化に向けた取組を続けているが、なかなか結果として表れてこない。 	C
C	A:達成 B:概ね達成 C:不十分 D:未達成		
成果指標②	指標名・内容	各校における授業改善の取組の把握と指導の充実	
	令和元年度の目標	学校訪問等で授業を参観し、各校の取組の実態把握をするとともに、児童・生徒の主体的な学びとなるよう指導を行う。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問等で授業を参観し、各校の取組の実態把握し、必要に応じて、児童・生徒の主体的な学びとなるよう指導を行った。 ・学力向上に向けた研修会を開催し、授業改善に向けて市内の実践例を交流し、組織的に進めている具体例を共有する機会を設けた。他校の実践例を自校に持ち帰らせ、各校の取組みの改善を図った。 ・国語、算数数学を中心に、外部から講師を招いての研修会を実施した。 	
	評価	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; width: 30%;">A</td> <td style="text-align: center;">A:達成 B:概ね達成 C:不十分 D:未達成</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問の参観では、和歌山の基礎・基本3か条をベースに、めあての提示、ふり返りの時間の確保、児童・生徒の学び合い等改善が見られた。 ・ICTの活用により、視覚的に分かりやすくする工夫が見られた。 	A
A	A:達成 B:概ね達成 C:不十分 D:未達成		

成果指標③	指標名・内容	特別支援教育の充実	
	令和元年度の目標	児童生徒の実態を把握した学級運営を行うとともに、個々に応じた方法・内容で学習できる工夫をするよう指導を行う。	
	令和元年度の実績	特別支援学級担当者研修会を2回実施し、特別支援学級における学級運営・授業作り等について研修した。	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		・研修としては日々の先生方の実践に役立つ内容であった。研修内容を生かしてもらうためにも、年度内早い時期に研修会を実施する必要がある。	
成果指標④	指標名・内容	各校における家庭学習時間の把握と啓発	
	令和元年度の目標	児童・生徒の家庭学習の習慣の定着を目指す。アンケート調査等で好結果を目指す。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査「児童生徒質問紙」における「普段（月～金）の学校の授業時間以外の一日あたりの勉強時間が1時間以上である児童生徒の割合」が、小中学校ともに全国平均を下回っている。 ・学力向上に向けた研修会において、家庭学習習慣・読書習慣の定着に向けた取組みについての情報共有を行い、全市的に共有して取り組んだ。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		・家庭学習の大切さを保護者につたえるために、各学校で「家庭学習の手引き」を作成し、配布している。また、「自主学习」の学習のしかたを掲示したり優れたノートを掲示したりと学校は取り組んでいる。中学校では終わりの会で、家庭学習の計画を立てさせたり、やり始めたりと対策をとっている。	
成果指標⑤	指標名・内容	遊びの環境構成の工夫	
	令和元年度の目標	主体的に遊ぶための環境構成について、園種に関わりなく協議し充実を図る。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・園訪問の機会を生かし、こども園・保育園・幼稚園の保育者が互いの保育を見学し、物的な環境構成や、人的な環境である保育者の関わり方について協議できた。 ・公立園が中心の園訪問であったが、私立園2園から参観の参加、1園から公開保育の提供があり、公立私立の距離が近くなってきた。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		・幼児の主体性の育ちが就学後の学びへの意欲につながると捉え、研究に努めた。	
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの学級での指導が適切か否かを見極め、改善を図るためには、客観的な指標に基づくPDCAサイクルを確立することが重要である。4月の全国学力・学習状況調査及び（市）標準学力調査と10月の（県）到達度調査をC（チェック）の場面に据え、今後も年間2回のPDCAサイクルの充実を図る。 ・学力向上のためには「授業改善」や「教員の資質向上」が欠かせない。授業改善に向けた研修会の実施等を引き続き行う。 ・幼児の主体的な姿とはどのような姿かについて、今後も園種を越えて話し合う機会を持ち、環境構成の工夫に生かしていく。 		

重点的な取組	No.20	体力向上に努めます。	
	2-(1)-②		
担当部署	学校教育課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・新体力テストを核に据えたPDCAサイクルを確立します。 ・乳幼児期の運動発達を促し、体力づくりを推進します。 		
成果指標①	指標名・内容	新体力テストを核に据えたPDCAサイクルの確立	
	令和元年度の目標	新体力テストにおいて、全学年でTスコアが全国平均を上回る	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・新体力テストにおいては、 ・令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果では、(A・B判定) - (D・E判定) の値は小5男子、小5女子、中2男子、中2女子のいずれにおいても国の平均を上回った。 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
成果指標②	指標名・内容	幼児自らが進んで身体を動かそうとする環境づくり	
	令和元年度の目標	幼児一人一人の運動課題を見極めながら、楽しんで身体を動かす環境の工夫をする。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しんで身体を動かせることを意識して、活動の工夫をした。(鬼ごっこや散歩、リズム運動など) ・教師も幼児の一員となり、思い切り身体を動かし楽しむ姿を見せることで、積極的に活動を促した。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・授業交流会をはじめとして市内外の優れた共有、実践し、体力向上に向けて一層取り組む。 ・幼児が思わず動きたくなる楽しい運動遊びについて研究をする。 		

重点的な取組	No.21	教職員の資質向上に努めます。	
	2-(1)-③		
担当部署	学校教育課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員を対象に研修会を開催します。 		
成果指標	指標名・内容	授業改善に向けた研修会の開催	
	令和元年度の目標	県教育委員会とも連携し、教員の資質向上に取り組む。 講義のみの研修だけでなく、研究授業を核にしたより実践的に研修会を開催する。	

成果指標①	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県教育委員会と同じ方向性を持って、各種の研修会を開催した。 ・ 伊都地方4市町が主催して、ミドルリーダー層向けの「学校運営と教員の資質向上を目指す研修」を3日間実施。国の教育の動向や危機管理等の内容を取扱い、今後の学校経営の中核となる人材の育成に努めた。 ・ 国語、算数数学の指導について、外部から講師を招いた研修会を実施した。講義だけではなく研究授業を中心とした研修を開催し、より実践的な研修会を開催した。 ・ 新学習指導要領、道徳教育、ESD等の新しい教育課題等に対応するための研修会や教科指導の研修会を、他機関とも連携を図りながら実施し、教員の資質向上に努めた。 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員の多忙化が問題となっており、教職員がじっくりと研修に参加することが困難になってきているが、今後も教員の資質向上のため、必要な研修会を精選して開催する。 		

重点的な取組	No.22	橋本市生涯学習推進計画に基づいた取組を進めます。	
	2-(2)-①		
担当部署	生涯学習課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人材を発掘し、共育コーディネーターが地域の核になるための研修を実施します。 ・ 地域づくりの主体となる語り合いの場づくりを進め、具体的な行動につなげていきます。 		
成果指標①	指標名・内容	地域を創る話し合いの場づくりの積極的な展開	
	令和元年度の目標	社会教育の根幹となる地域住民の参加をより一層促していく。実施回数は全館で1回以上実施を目指す。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共育ミニ集会を各地域で実施。 ・ 共育コーディネーターに対する研修を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止。 ・ 紀見地区公民館の「4校交流会」、学文路地区公民館の「カフェマルシェ」等を行なった。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共育コーディネーターが地域の核となるには、資質向上も必要であるが、地域への共育コミュニティ、共育コーディネーターの役割の周知が必要である。テーマを持って実施できるように今後努めていく。 		

重点的な取組	No.23	「すこやか橋本 まなびの日」事業を実施します。	
	2-(2)-②		
担当部署	生涯学習課		
具体的な施策	・健康部門と教育部門が協力し、協働のイベントを開催します。		
成果指標①	指標名・内容	「すこやか橋本 まなびの日」イベント内容の充実と多くの参加者の確保	
	令和元年度の目標	各参画団体と市の教育委員会及び健康福祉部とが連携、協働し、当日、多数の方が参加するイベントとなるよう取り組む。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度「第11回すこやか橋本 まなびの日」の当日参加者は2,838人。 ・前日準備、当日の運営、後片付けに各参画団体から多くのスタッフが参加していただいた。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・予算的にギリギリの運営が続き、予算が増額される見込みもない。さらに当日運営スタッフを担っていた橋本市子ども会連絡会の構成団体が減少し共催から外れることになる。今後も市と市民の協働で事業の充実と効率化を図っていく。 		

重点的な取組	No.24	地域の特性、歴史、文化を生かした交流事業を充実させます。	
	2-(2)-③		
担当部署	中央公民館		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・「盆踊り」、「ふるさと散策」を開催します。 ・伊都地方文化祭を開催します。 ・公民館まつりを開催します。 		
成果指標①	指標名・内容	地域住民がふれあえるイベントの実施数	
	令和元年度の目標	引き続きより魅力あるイベントの開催を増やしていく。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区公民館で盆踊り・夏祭り等を開催し、多くの参加者が集い、地域交流に繋がった。また、各地区公民館においては、歴史等をテーマにふるさと散策イベントを実施し、地域の歴史を学ぶ機会を提供することができた。 ・伊都地方文化祭は伊都地方の小中学校主催で開催され、貸館業務に寄与した。 ・3月7、8日に開催予定であった第14回橋本市公民館まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、やむなく中止となった。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き事業に取り組んでいく。 		

重点的な取組	No.25	保育園・幼稚園・こども園と小学校との接続について、研究を進めます。	
	2-(3)-①		
担当部署	学校教育課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校へのつながりを意識した幼児期の教育について、保育園・幼稚園・こども園が連携しながら研究に取り組みます。 ・幼児と児童の交流の場を計画的に設けるとともに、園と小学校の教職員の相互参観や研修の場を設定します。 		
成果指標①	指標名・内容	研究保育への参加	
	令和元年度の目標	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿（10の姿）」を手立てとし、園と小学校が子どもの姿を共有する。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・公立幼稚園・保育園、公設民営こども園・保育園の職員は、引き続き互いの公開研究保育に積極的に参加し、就学前の保育・教育のあり方について共に考えることができた。 ・園から小学校に送付する要録の様式が10の姿を踏まえた記述となって2年目となり、園職員の意識も定着してきた。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・園から小学校への引継ぎの共通言語として10の姿が定着するよう、園職員の意識を高め、積極的に小学校へ働き掛ける姿につなげる。 		

重点的な取組	No.26	小中一貫教育の充実に努めます。	
	2-(3)-②		
担当部署	学校教育課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区において年間計画を立て、小中で連携した教育を目指します。なお、橋本市における小中一貫教育の要件は以下の4点です。 (1) 小中で連携した教育目標の設定 (2) 教育課程及び指導内容・方法並びに形態の連続性 (3) 児童生徒の活動の連続性 (4) 教職員間の連携 		
成果指標①	指標名・内容	各中学校区において、小中連携型の一貫教育の推進	
	令和元年度の目標	全中学校区において、小中一貫教育の4要件を満たす取組を行う。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区において、教育目標をはじめ、特定の教科において連携や連続性がみられた。 ・児童生徒の活動についても連続するよう協議し、実践している中学校区が増えてきた。 ・小中学校間で管理職の交流は月1回程度行われた。教職員間の連携については、異校種の授業を参観しているところもあった。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		<ul style="list-style-type: none"> ・各中学校区で幼・保・小・中の連携が進みつつある。 	

課題・今後の方向性	・部活動の見学や地域一斉清掃等、各中学校区で幼保・小・中の連携が進みつつある。管理職だけでなく、先生方にも、小・中学校相互の授業を参観することで、学びの連続性について再認識できるので、さらに進めていきたい。
------------------	---

重点的な取組	No.27	教育環境の施設整備に努めます。	
	2-(4)-①		
担当部署	教育総務課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・市立小中学校の適正規模・適正配置基本方針に基づき施策を進めます。 ・学校施設の長寿命化を計画的に行います。 ・学校施設の安全管理に努めます。 		
成果指標①	指標名・内容	計画的な大規模改修の実施	
	令和元年度の目標	R1で西部小学校の長寿命改良事業3期のうち1期目、隅田中学校、紀見東中学校のトイレ改修を実施する。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・西部小学校の校舎の内部（教室の床・壁・扉、廊下や階段の床・壁等）の改修及び、北校舎2、3階児童用トイレ、職員用トイレ改修（洋式便器化、床乾式化）を実施、その他、校舎外壁改修を行った。 ・隅田中学校の生徒棟2階3階トイレ（洋式便器化、床乾式化）、管理棟1階トイレの改修（多目的トイレ化）、紀見東中学校の生徒棟1階・2階・3階、管理棟多目的トイレの改修（洋式便器化、床乾式化）を行った。 ・熱中症対策のため、全小中学校の普通教室、特別支援教室、音楽室に空調設備設置工事を行った。 ・柱本小学校の屋内運動場の外壁の劣化が著しく、落下防止、防水対策改修を行った。 ・トイレに洋式便器の少ない紀見小学校と紀見北中学校のトイレ改修を令和2年度に実施するため、工事設計を委託事業により実施した。 ・外壁の劣化が著しく、落下防止対策が必要な清水小学校、城山小学校、隅田中学校、紀見北中学校の令和2年度に実施するため、工事設計を委託事業により実施。 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		・令和元年度の工事内容を予定どおり完了した。	
課題・今後の方向性	・昭和50年代から平成初期に建築され、築25年を超え老朽対策が必要な学校施設面積は学校施設面積全体の6割を越える状況であり、来年度以降も引き続き大規模改修工事を行っていく必要がある。市財政状況は引き続き厳しいため、補助金等を活用しつつ計画的な実施を行っていく。		

重点的な取組	No.28	児童・生徒が安心して学校生活を送れるよう、就学援助を行います。	
	2-(4)-②		
担当部署	学校教育課		
具体的な施策	・経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者及び特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担の軽減を図るため、就学援助を行います。		
	指標名・内容	国の基準に基づいた就学援助の実施	

成果指標①	令和元年度の目標	必要な援助を平等に支給出来る方法を探る。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校 要保護2名・準要保護411名 中学校 要保護4名・準要保護220名 (市立小・中学校全児童生徒の14.70%) ・市立小学校の特別支援学級全201人中 準要保護児童生徒援助費に53人、特別支援教育就学奨励費に140人を認定した。 ・市立中学校の特別支援学級全76人中 準要保護児童生徒援助費に27人、特別支援教育就学奨励費に42人を認定した。 ・令和元年度新小学1年生、新中学1年生の新入学児童生徒学用品費を前年度の3月に支給することができた。 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
<ul style="list-style-type: none"> ・国の基準に基づき、適正な時期に適正な支給ができた。 			
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズや国の動向等により、事務が複雑になってきていることから、出来るだけ簡素化できるよう工夫しているところである。引き続き、研究・実施を心がけたい。 		

重点的な取組	No.29	教職員や児童生徒の心身の健康保持に努めます。	
	2-(4)-③		
担当部署	学校教育課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員のメンタルヘルスに関する取組の充実を図ります。 ・疾病に対する予防保健活動の推進を図り、児童生徒等の心身の健康保持に努めます。 		
成果指標①	指標名・内容	学校長との面談	
	令和元年度の目標	職員の健康管理について校長面談の内容に盛り込む。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・校長面談や管理訪問で、職員の健康管理についてのヒアリングを行い、職場環境の状況を掴むことができた。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
<ul style="list-style-type: none"> ・各学校の教職員の健康状態や勤務状況を把握できた。 			
成果指標②	指標名・内容	がん教育の実施	
	令和元年度の目標	全市立小学校で、がん教育を実施する。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・医師による出張授業を全市立小学校6年生及びその保護者を対象に実施した。 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
<ul style="list-style-type: none"> ・医師による出張授業を全市立小学校6年生及びその保護者を対象に実施した。 			
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・がん教育に関しては、専門家である医師の協力を仰ぎながら、引き続き全市立小学校で実施する。 		

重点的な取組	No.30	安定した学級運営を行うため、必要に応じて人的支援を行います。	
	2-(4)-④		
担当部署	学校教育課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の多人数学級において支援が必要と判断した場合に、非常勤職員を配置します。 ・学級において指導困難な状況であると判断した場合に、非常勤職員を配置します。 ・介助が必要な児童生徒が在籍し、人的支援が必要であると判断した場合に、特別支援教育支援員を配置します。 		
成果指標①	指標名・内容	非常勤講師等の活用状況の把握	
	令和元年度の目標	非常勤講師等の活用状況を確認するために配置校の訪問を行う。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・配置校すべてを訪問し、非常勤講師（29名）の効果的な配置を確認することができた。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・各学校からのニーズが年々増加している現状であるが、人材確保が困難である。 ・来年は、会計年度任用職員制度に変わることによって、今まで同じ人的支援を行うことができるか課題である。 		

重点的な取組	No.31	住民との連携協力や生涯学習活動の支援に努めます。	
	2-(5)-①		
担当部署	中央公民館		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館や学校および図書ボランティア等との連携協力や生涯学習活動の支援に努めます。 		
成果指標①	指標名・内容	市民ボランティアへの支援	
	令和元年度の目標	各公民館とそこで活動するボランティアに有益な情報を提供し、活動の活性化を図る。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館運営委員の総数は、8地区公民館合わせて407名にものぼる。各地区公民館とも事業に運営委員が事業を企画し、精力的に実施した。 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も住民との連携協力を進め、生涯学習活動の支援に努めるが、具体的な施策や成果指標の設定については検討していきたい。 		

重点的な取組	No.32	スポーツ推進計画に基づき、体力向上に努めるとともに、生涯スポーツに繋がる基礎を培います。	
	2-(5)-②		
担当部署	生涯学習課、中央公民館		

<p>具体的な施策</p>	<ul style="list-style-type: none"> すべての市民が気軽にスポーツに参加できる環境の整備に努めます。 スポーツにふれあうことにより、健康な人づくり、元気なまちづくりを推進します。 学校・各種団体と連携し、指導者・選手の育成や競技力の向上に努めます。 生涯スポーツやレクリエーション活動を通して、人々の健康増進と交流を深めるため、次の事業を行います。 		
<p>成果指標①</p>	<p>指標名・内容</p>	<p>中央並びに地区公民館のスポーツ大会や健康増進行事への参加者数</p>	
	<p>令和元年度の目標</p>	<p>参加者数、前年比10%増を目指す。</p>	
	<p>令和元年度の実績</p>	<p>各公民館でのスポーツ大会や健康増進行事への参加者数は例年並みとなった。市民グラウンドゴルフ交流会への参加は326名で、前年比の3%減であった。</p>	
	<p>評価</p>	<table border="1" data-bbox="456 640 1401 701"> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td>A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成</td> </tr> </table> <p>今後も引き続き事業に取り組んでいく。</p>	B
B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成		
<p>成果指標②</p>	<p>指標名・内容</p>	<p>市民ニーズに応じたスポーツをし易い環境整備</p>	
	<p>令和元年度の目標</p>	<p>施設利用者等のニーズに応じて、可能な限り用具等の充実を図る。</p>	
	<p>令和元年度の実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> 前畑・古川記念プールのコースロープを更新した。 老朽化した橋本市運動公園高圧受電設備の修繕を実施した。 雨漏り等の影響で落下の可能性のあった伏原体育館の天井パネルの修繕を行なった。 	
	<p>評価</p>	<table border="1" data-bbox="456 1059 1401 1120"> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td>A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成</td> </tr> </table> <p>施設の老朽化が目立つようになってきており、整備不良が原因で利用者及び職員が怪我することのないよう環境整備を行なった。</p>	B
B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成		
<p>成果指標③</p>	<p>指標名・内容</p>	<p>スポーツイベントを通じた地域交流の促進</p>	
	<p>令和元年度の目標</p>	<p>スポーツイベントを開催する際に、参加する人・見る人・支える人等が大会を通じて交流できるような仕組みの構築を目指す。</p>	
	<p>令和元年度の実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> 第23回橋本マラソン大会を開催する。 スポーツ少年団・体育協会などの団体と連携を取りスポーツイベントを開催した。 	
	<p>評価</p>	<table border="1" data-bbox="456 1456 1401 1516"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td>A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成</td> </tr> </table> <p>参加者だけでなく多くのボランティアスタッフまた沿道からの応援者とともに一体となり橋本マラソンを盛り上げた。</p>	A
A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成		
<p>成果指標④</p>	<p>指標名・内容</p>	<p>身体能力や技術力の向上を目指す組織作り</p>	
	<p>令和元年度の目標</p>	<p>体育協会・スポーツ推進委員・スポーツ少年団との連携を強化し、指導者・選手の育成に努める。</p>	
	<p>令和元年度の実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進委員の協力のもとスポーツ少年団体力テストや市のスポーツイベントに取り組んだ。 スポーツ少年団理事会・総会等を開催。体力づくり&交流会、研修会等も実施し、指導者、団員の育成に努めた。 	
	<p>評価</p>	<table border="1" data-bbox="456 1883 1401 1944"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td>A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成</td> </tr> </table> <p>今後もスポーツ推進員と連携しスポーツ少年団体力テストを実施する。</p>	A
A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成		

課題・今後の方向性	・施設の老朽化が目立つようになってきており、整備不良が原因で利用者が怪我することのないよう細心の注意を払い、事後保全とならないよう予防保全を心掛ける。
------------------	---

重点的な取組	No.33	総合的な学習の時間の充実を図ります。	
	2-(6)-①		
担当部署	学校教育課		
具体的な施策	・ESDの視点で、全体計画及び年間計画を見直します。		
成果指標①	指標名・内容	総合的な学習の時間の実施状況把握と指導の充実	
	令和元年度の目標	ESDの視点で、総合的な学習の時間を実施する学校を増やす。そのための研修会を実施する。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職と研究主任を対象に「ESD研修会」を開催した。学校の核となる方に参加していただき、ESDの理論や体験学習等を学ぶ機会が持てたことは成果があった。 ・研修会を実施したことで、ESDを核とした総合的な学習の時間の年間計画を作成できることを学べた。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		・研修に参加することにより、ESDの視点で総合的な学習の時間を計画・実施することができるようになっている。	
課題・今後の方向性	・小学校は積極的に実施している、あるいは実施を考えている学校が増えてきたが、中学校については実施している学校はまだない。ESDの視点から年間指導計画を見直すことのために、ESDについての理解のための研修会を引き続き開きたい。		

重点的な取組	No.34	ESDを意識した各種研修会を計画、実施します。	
	2-(6)-②		
担当部署	学校教育課、生涯学習課		
具体的な施策	・ESDの視点で、全体計画及び年間計画を見直します。		
成果指標①	指標名・内容	ESDを推進するため、研修会等の実施	
	令和元年度の目標	各種事業の中でESDの視点の取組みもあるので、ESDの説明を入れ、理解を深める。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業、シルバー人材センター、スポーツ少年団、ボーイスカウト等の各種団体の協力のもと紀の川河川敷の清掃活動を実施した。清掃活動の後、子ども達を対象とした水生生物調査を予定していたが、台風による増水の影響で中止した。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		・河川の清掃活動を通して、環境に関する取り組みを行うことができた。	
	指標名・内容	ESDを推進するため、研修会等の実施	

成果指標②	令和元年度の目標	研修会等を1回以上実施し、ESDの理解を深める。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職と研究主任を対象にESD研修会を実施した。 ・奈良教育大学におけるESD成果発表会・実践交流会に参加した。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・ESDは持続可能な社会を生き抜くために必要であるため、ESDの視点を「ふるさと学習」に活かしていきたい。 ・ESDの実践校が少ないため、今後も教員の研修会を開催し普及に努めるとともに、よい実践例をたくさん紹介する機会をもちたい。そのためには、引き続き管理職や研究主任を対象に研修会を開催し、理解を深めてもらう必要がある。 		

重点的な取組	No.35	「橋本市子ども読書活動推進計画（第2次）」に基づき、読書活動の充実に努めます。	
	2-(7)-①		
担当部署	学校教育課、生涯学習課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども読書活動関係ボランティアの活動の活発化に努めます。 ・学校等における読書活動を推進します。 ・ブックスタート事業を引き続き推進します。 		
成果指標①	指標名・内容	一斉の読書時間の確保	
	令和元年度の目標	全小中学校で一斉の読書時間の確保を目指す。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校では全校で読書の時間の確保ができています。中学校では3校が時間確保ができています。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
成果指標②	指標名・内容	学校図書館の開放日数・時間の確保	
	令和元年度の目標	学校司書やボランティア、各学校児童生徒の委員会活動等利用し、すべての小・中学校で毎日の開放を目指す。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日学校図書館を開放している学校は約80パーセント。それ以外の学校でも週に2～4日開放されおり、前年度に比べ開放されている日数は増えている。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
指標名・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は長時間開放していけるよう各学校とともに考えていきたい。（学校司書やボランティアの活用） ・学校図書館の管理という面からすると、学校図書館を終日開放することは難しい部分がある。しかし、学校図書館はいつでも開いているという感覚を学校に意識してもらえよう働きかけていきたい。 		
指標名・内容	各園の実態に応じた具体的目標の設定と取組		

成果指標③	令和元年度の目標	各園、前年度の反省と課題を踏まえながら実態に応じた目標を設定し、取組状況を報告し合い、充実につなげる。	
	令和元年度の実績	・これまでどおり、公立園、公設民営園、公私連携型の園では、子どもの実態を踏まえて一年間の具体的な目標を設定して取り組んだ。私立園も参加する年度末の園長会で特徴的な取組を情報提供した。	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
成果指標④	指標名・内容	ボランティアの活用	
	令和元年度の目標	学校や学校司書とうまく連携し協働して活動できる工夫をする。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館ボランティアの方に向け、情報提供や研修の機会をもつ。 ・ボランティアの訪問日と学校司書の勤務日を重ねることで、仕事内容の役割分担もできており、協働した活動ができてきている。学校を中心として、学校司書とボランティアの連携のための工夫（連絡ノート等）を行っている。（連絡ノート等） ・図書ボランティアの方に向けた研修を3月5日に予定していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
成果指標⑤	指標名・内容	ユニバーサルデザインを取り入れた学校図書館	
	令和元年度の目標	だれもが利用しやすい学校図書館の整理や図書の分類を行うとともに、各コーナーの設置やくつろぎスペースの確保等も実施していく。	
	令和元年度の実績	それぞれの学校は学校図書の整理、分類ができていますが、さらに学校として工夫したいと感じている学校もある。	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
課題・今後の方向性	橋本市子ども読書推進計画（第3次）が策定されるので、今後はそれに基づき、学校を中心にボランティア・学校司書と連携しながら、読書推進に取り組んでいく。		

重点的な取組	No.36	市民に役立つ図書館づくりに努めます。
	2-(7)-②	
担当部署	図書館	
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性や利用者のニーズに応じた図書館資料の収集と整理・保存及び情報提供に努めます。 ・親しみのある図書館サービス活動を展開します。 ・子どもの読書活動の推進に努めます。 ・地区公民館や学校及び図書ボランティアなどとの連携協力や生涯学習活動の支援に努めます。 	

成果指標①	指標名・内容	資料の収集・整理・保存	
	令和元年度の目標	体系的な資料の整備を進める。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・話題の本をはじめ、季節や行事を考慮し、多年齢層を対象とした資料の収集に努めた。 ・地域の民俗に関する貴重な資料の製本・デジタル化を行った。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		<ul style="list-style-type: none"> ・季節や話題の本のコーナー設置により利用者への資料提供をした。 ・市民の協力により、「高野山麓橋本新聞」の収集に向けた取り組みを終え、引続き地域資料としてスクラップを作成し公開している。 	
成果指標②	指標名・内容	主催行事の充実	
	令和元年度の目標	内容等に検討を加え、更なる充実を目指す。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「納涼お話会」は年々参加者が増加しキャパをはるかに超えてきたため、整理券の配布により開催したところ、いつもよりゆったりと聞いて頂けた。 ・多種にわたった内容の講座開催に努めた。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを対象としたお話会が充実してきている。 ・市民の図書館活動に対する関心の高まりが感じられる。 	
成果指標③	指標名・内容	子どもたちの読書へのきっかけづくり	
	令和元年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・調べる学習コンクールの継続実施に努める。 ・団体貸出制度の活用に向けて広報活動に努める。 	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「第3回橋本市図書館を使った調べる学習コンクール」に市内小中学校14校及び、大人1名より作品が提出された。 ・ビブリオバトル中高生県予選大会を九度山町・高野町・橋本市共催で開催出来た。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		<ul style="list-style-type: none"> ・「調べる学習コンクール」応募作品数は、数校について事前審査済み作品を提出いただいたこともあり数は297点であったが、秀作が多く、内2作品は全国大会で優良賞を受賞した。 ・ビブリオバトルは、バトラー参加が高校生のみで、中学生の参加が得られなかった。 	
成果指標④	指標名・内容	ボランティアの支援を募る	
	令和元年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・市内外の高校への周知に努める。 ・定期的にボランティアを募集する。 	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内高校の図書部員が定期的に放課後、配架ボランティアをしてくれている。 ・一部主催行事のボランティアは固定して参加がある。 	
	評価	C	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの募集ができなかった。 	
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・市民との共働の下に内容を精査し、市民に役立つ図書館づくりに努める。 		

重点的な取組	No.37	食に関する指導の充実に努めます。	
	2-(8)-①		
担当部署	学校給食センター		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における食育の充実に努めます。 ・家庭との緊密な連携のもと、子どもの健全な成長、発達に不可欠な食生活の充実に努めます。 ・学校と給食センターとの連携を密にします。 		
成果指標①	指標名・内容	学校給食の献立表を工夫し食に関する情報発信	
	令和元年度の目標	現状としても工夫しているが、さらに工夫をした献立表を作成する。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地元食材、行事食の紹介やマナーなど食に関する様々な情報を掲載した献立表を毎月配布した。また、橋本市のラインにも掲載を行い、いつでも携帯で見ることができる活用しやすい形態とし、アレルギー専用の献立表も作成した。 	
	評価	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td>A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成</td> </tr> </table> <p>特に平成30年度から対応をしている食物アレルギーの除去食対応で対象の方が見やすく活用しやすいアレルギー専用の献立表を作成することで誤食誤配のリスクを抑えることができていると思います。</p>	B
B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成		
成果指標②	指標名・内容	栄養士等による「食に関する指導」の実施	
	令和元年度の目標	直接児童生徒に接し、食の大切さを伝える。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内14校の6年生を対象にバイキング給食を計画し、バイキング給食実施時に栄養士の講話を行い、食の大切さを十分理解してもらった。 ・地場産食材活用推進のため小学校の給食時に生産者との交流会を実施した。 ・給食センター見学時に実際の調理の様子を紹介し、食べ残しを減らすよう指導を行った。 	
	評価	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">B</td> <td>A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成</td> </tr> </table> <p>直接子どもたちと接する機会が少ない中、子どもたちの給食に対する感想、思いは把握できたが、センター方式の制限の中で今後はできるだけ実現できるようにして行く。</p>	B
B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成		
成果指標③	指標名・内容	保護者対象の給食試食会の実施	
	令和元年度の目標	保護者の学校給食についての意識を高める。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校1年生の保護者を対象に給食試食会を実施し、センターの施設概要、学校給食の内容・目標・安全（今年度は特にアレルギー食）について説明し、意見交換を行った。 	
	評価	<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">A</td> <td>A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成</td> </tr> </table> <p>・例年通り、学校給食全般の説明はでき、加えてアレルギー除去食対応の説明も簡単ではあるがすることができた。</p>	A
A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成		
指標名・内容	給食主任者会議の実施		
	令和元年度の目標	学校と給食センターとの連携を密にします。	

成果指標④	令和元年度の実績	・市内小中学校19校の給食主任者と年2回、会議を開催し、普段の給食やこれからの新しい取り組みについて意見交換を行った。	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
課題・今後の方向性		この食育についての取り組みは、給食センター単独では難しく、学校や保護者と連携する必要がある。	

重点的な取組	No.38	学校給食における食物アレルギー対応を実施します。	
	2-(8)-②		
担当部署	学校給食センター		
具体的な施策	・食物アレルギー対応検討委員会を設置し今後の対応を決定する。		
成果指標①	指標名・内容	学校給食における食物アレルギー対応の実施	
	令和元年度の目標	現在、卵の除去食対応を行っているが、今後対応を検討する範囲とスケジュールを決定していく。	
	令和元年度の実績	食物アレルギー対応検討委員会を設置・開催し、対応を検討する範囲は表示義務のある主要7品目し、「卵」に続き、令和2年度からは「えび・かに」の除去食対応を行い、令和3年度から「乳」の対応を行う準備をする。また代替え食対応の部分対応として令和2年度から「牛乳」を「豆乳」に変えるようにした。	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
検討を行う範囲とスケジュールが決まったので、計画を立て安全に実施することができると思われる。			
課題・今後の方向性	「そば」「落花生」は食材として今後も使用しないので、残りの「小麦」の対応をするかしないかを含め検討していく必要がある。		

重点的な取組	No.39	地域共育コミュニティ形成促進事業・放課後子ども教室推進事業を実施します。	
	3-(1)-①		
担当部署	生涯学習課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習による人づくり・地域づくりのために市民のつながりを大切にし、学校・家庭・地域の連携を促す取組を推進します。 ・放課後子ども教室推進事業を推進します。 ・共育コミュニティ形成促進事業・放課後子ども教室推進事業が持続可能とできるよう実施形態の見直しを検討します。 ・コミュニティづくりに寄与する取組や実践を共有し、活性化に働きかけます。 		
指標名・内容	地域共育コミュニティ形成促進事業		

成果指標①	令和元年度の目標	事業の実施形態の見直しを行い事業の持続可能性を追求する。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方への周知のために、共育コミュニティのチラシを作成し、地域支援者養成講座などで配布をした ・ボランティアの方に向けた学校支援のまとめを作成済み 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
<ul style="list-style-type: none"> ・事業を継続するためには、幅広い年代の方に活動を知ってもらう必要があるため、今後も共育コミュニティについて周知をはかっていく。 			
成果指標②	指標名・内容	放課後子ども教室推進事業	
	令和元年度の目標	事業の実施形態の見直しを行い事業の持続可能性を追求する。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・実施延べ回数 461回 ・参加児童延べ人数 7,708名 (R2.2月集計時点) ・地域の方への周知のために、ふれあいルームのチラシを作成し、地域支援者養成講座などで配布した ・共育、ふれあいルームのコーディネーター間の情報共有のため相互の会議録を配布している。 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの安心安全な居場所としての放課後ふれあいルームの運営には学校・地域の協力が不可欠な為、ふれあいルームの周知をさらにはかっていく。 			
成果指標③	指標名・内容	こどもの居場所づくり事業	
	令和元年度の目標	事業の実施形態の見直しを行い事業の持続可能性を追求する。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・実施延べ回数 61回 ・参加児童延べ人数 770名 ・小学校3箇所、中学校1箇所、公民館1箇所を実施 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度から隅田中学校での学習支援が始まる。ボランティアや参加者の確保に苦慮しているところもあるため、事業の案内・募集方法を検討していきたい。 			
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共育コミュニティ形成促進事業・放課後子ども教室推進事業の運営には学校・地域での認知と理解を得ることが必要であり、今後さらに周知をはかっていく必要がある。また各学校でコミュニティスクールができていく中で具体的にどのような連携をはかっていくかが課題である。 		

重点的な取組	No.40	実効性のあるきのくにコミュニティスクールの推進。
	3-(2)-①	
担当部署	学校教育課	
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会した学校と既存の「きのくに共育コミュニティ」との連携・協働により社会総掛かりで教育の実現を目指す。 	
指標名・内容	学校運営協議会の本格的な実施	

成果指標①	令和元年度の目標	・学校・地域・福祉関係等様々な立場から、子どもたちの育ちを考える。	
	令和元年度の実績	各学校のニーズに合わせた特色ある取組みをすすめられた。	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
・各学校は、本格実施初年、試行錯誤の中、特色ある取組みができた。			
課題・今後の方向性	・学校と地域が目標やビジョンを共有し、取組を進める。		

重点的な取組	No.4 1	学校評価の実施と結果の公表を行います。	
	3-(2)-②		
担当部署	学校教育課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は、自己評価の実施と公表を行います。 ・学校は、学校関係者評価を実施し、学校運営の改善に生かします。 ・教育委員会は、学校評価の結果を学校に対する支援に生かします。 		
成果指標①	指標名・内容	学校における学校関係者評価の実施 前年度の学校評価結果に基づく、学校運営の改善	
	令和元年度の目標	全校において学校関係者評価を実施する 全校において、前年度の学校評価結果に基づき、学校運営の改善を実施する。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全校において、学校運営協議会による学校関係者評価を実施した。 ・全校において、平成30年度の学校評価の結果に基づき、学校経営計画の修正を行い、年間を通して各校の取組に反映することができた。平成30年度の評価では、「家庭での学習習慣や読書習慣」に対して評価の低かった学校が多く、全校を挙げて改善に取り組んだ。 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
・実施が義務化されている自己評価に加え、努力義務とされている学校関係者評価を全校で実施している。保護者、学校運営協議会からの意見に対して真摯に向き合い、学校運営に反映することができている。			
成果指標②	指標名・内容	各校の学校評価分析と支援の充実	
	令和元年度の目標	平成30年度に低い評価であった「家庭での学習習慣や読書習慣」に対して改善に向けた方策を行う	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に向けた研修会の中で、家庭学習習慣・読書習慣の定着に向けた取組みについての情報共有を行い、全市的に共有して取り組んだ。 ・学校への訪問指導の中で、家庭学習につながる授業づくり、ノート指導について指導を行った。 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
平成30年度に低い評価であった「家庭での学習習慣や読書習慣」について、一気に改善を図ることはできなかったが、徐々に改善が見られている。優れた実践例を共有し、引き続き、全校が同じ方向を向いて取り組むよう指導を行う。			

課題・今後の方向性	・社会に開かれた教育課程を実現するため、引き続き、保護者、学校運営協議会の評価を学校経営に生かしていく。
-----------	--

重点的な取組	No.4 2	保護者や地域社会に学校情報を発信します。	
	3-(2)-③		
担当部署	学校教育課		
具体的な施策	・学校WEBサイトや学校だより等、様々なメディアを通じて学校の取組や考え方を知らせることにより、教育活動に対する理解と参画を進めます。		
成果指標①	指標名・内容	各校のWEBサイトや学校だよりによる学校教育活動の情報発信	
	令和元年度の目標	学校WEBサイト等を活用し、学校教育活動の情報発信に努める	
	令和元年度の実績	・各学校ではWEBサイトの更新を行い、学校生活の様子を発信した。	
	評価	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成</td> </tr> </table> <p>・各学校ではHPや学校便りをとおして、学校の取組や児童生徒の活動の様子を発信している。 ・11月の学校開放月間では、保護者だけでなく地域の方にも見てもらえる機会を設け、多くの方々に学校教育活動を発信する機会とした。</p>	A
A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成		
成果指標②	指標名・内容	園便りやWEBサイト等による情報発信	
	令和元年度の目標	各園の実情に応じた方法で、保護者や地域の人に分かりやすい伝え方の工夫をする。	
	令和元年度の実績	・園のH.Pは、リアルタイムの情報が伝わるよう更新に努めた。 ・園便りや通信を配布したり、ドキュメンテーションを作成したりし、子どもの具体的な姿から、幼児教育の大切さを感じ取れるよう工夫した	
	評価	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成</td> </tr> </table> <p>園に掲示しているドキュメンテーションは、来園者のみが見られるものであるが、写真とコメントを交えた情報提供は分かりやすいと好評である。今後更に内容の充実が期待される。</p>	A
A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成		
課題・今後の方向性	・学校の教育活動を早く、広く知ってもらうためには、WEBサイトの充実は必要不可欠である。今後も積極的な活用を進める。		

重点的な取組	No.4 3	橋本市ボランティア登録制度による市民ボランティアの活用等により学校と地域住民や民間団体をコーディネートします。
	3-(2)-④	
担当部署	中央公民館	
具体的な施策	・市民ボランティアの活用を図ります。	
指標名・内容	市民ボランティアの活用	

成果指標①	令和元年度の目標	各公民館とそこで活動するボランティアに有益な情報を提供し、活動の活性化を図る。	
	令和元年度の実績	・地区公民館運営委員の総数は、8地区公民館合わせて407名にものぼる。各地区公民館とも事業に運営委員が事業を企画し、精力的に実施した。	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
・多数の運営委員の方々が、地区公民館事業に参画していただいた。			
課題・今後の方向性	・今後も地区公民館運営委員と連携協力を進めていく。		

重点的な取組	No.44	地域と連携した安全教育を推進します。	
	3-(3)-①		
担当部署	学校教育課、教育総務課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・学校において、防災訓練を実施します。 ・交通安全、生活安全等、安全に関する指導の充実を図ります。 		
成果指標①	指標名・内容	火災、地震等災害別の防災訓練の実施	
	令和元年度の目標	年2回災害別の防災訓練を実施する。	
	令和元年度の実績	・各学校で、年2回の防災訓練と、年1回の防犯訓練を実施した。	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
・各校年2回の防災訓練、年1回の防犯訓練を実施している。なお、地域の自主防災組織や関係機関と連携し、より実践的な訓練を行う事ができた			
成果指標②	指標名・内容	通学路の安全点検	
	令和元年度の目標	橋本市通学路交通安全プログラムに則り、通学路の安全点検を実施する。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年5月大津市で発生した園外保育中の園児の死亡事故を受け、市内幼稚園の園外保育の観点から危険箇所となり得る箇所について緊急的に調査を実施し、安全対策が必要な箇所を22カ所追加した。プログラムに掲載の要対策箇所は合計91カ所となり、そのうち対策済の箇所は51カ所となった。 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
・通学路安全推進会議を実施し、通学路交通安全プログラムの見直しを行った。			
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の安全対策については、「通学路交通安全プログラム」に基づき点検等を実施し、ハード面で対策可能な場所はできるかぎり対応しているが、対応できないものも多くあるため、引き続き、児童生徒への安全教育・安全指導や、地域の見守り等のソフト面での安全対策を充実することが重要である。 		

重点的な取組	No.45	青少年育成市民会議の活動の推進に努めます。	
	3-(3)-②		
担当部署	生涯学習課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の健全育成を阻害する環境の浄化に努めます。 ・社会を明るくする運動を推進します。 ・子ども・若者の社会的自立支援の促進に努めます。 ・青少年の健全育成活動の推進と充実に努めます。 		
成果指標①	指標名・内容	登下校時の見守り活動の実施	
	令和元年度の目標	500名の見守りボランティアの登録を維持する。	
	令和元年度の実績	・令和元年度の見守りボランティア登録者は、486名。	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		・防災行政無線を活用しながら、多くの見守りボランティアの方が街頭に立たれて、子ども達の安全を確保した。	
成果指標②	指標名・内容	子どもを守るための啓発活動・講演会の実施	
	令和元年度の目標	引き続き各中学校区での研修会等の実施と各健全育成会と連携して講演会等を実施する。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・橋本中央中学校区…共育ミニ集会、令和元年8月10日、77名参加 ・紀見東中学校区…講演会、令和2年2月12日 ・紀見北中学校区…講演会、令和元年12月11日 ・高野口中学校区…教育講演会、令和元年10月7日、151名参加 ・隅田中学校区…共育コミュニティ集会、令和元年12月7日、約480名参加 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
		・各中学校区で講演会等を開催し、多数の方が参加された。	
課題・今後の方向性	・更なる青少年健全育成の充実に努めるために、学校・家庭・地域が一丸となって取り組んでいきたい。		

重点的な取組	No.46	地域の学びの場として、公民館主催行事を充実させます。	
	3-(3)-③		
担当部署	生涯学習課、中央公民館		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが数学及び科学への興味や関心を持つように努めます。 ・生涯にわたって心豊かに学べる講座、教室、交流会を開催します。 ・人と人との交流を深めるとともに、健康維持の増進に努めます。 		
	指標名・内容	「おもしろ算数・数学教室」、「低学年のための親子算数教室」、「岡潔博士顕彰事業」、「低学年のための親子科学教室」の開催	
	令和元年度の目標	各事業広報活動を行い、参加者増を目指す。	

成果指標①	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・「おもしろ算数・数学教室」6回開催、参加者13名 ・「低学年のための親子算数教室」6回開催、参加親子128名 ・「岡潔博士顕彰事業」講演会を開催、187名の来場者 ・「岡潔博士顕彰事業」囲碁大会を開催、参加者31名 ・「岡潔博士顕彰事業」将棋大会を開催、参加者23名 ・「低学年のための親子科学教室」9回開催、参加親子120組 	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
成果指標②	指標名・内容	橋本市民大学いきいき学園などの開催	
	令和元年度の目標	学ぶだけでなく、学生自身が講師となり、教える側・学ぶ側との相互学習の機会を組み入れ、生涯学習として取組む。	
	令和元年度の実績	・令和元年度の講座では学生自身が講師になる機会はなかったが、各学年のホームルーム等で学生同士が、相互学習の場を作っていた。	
	評価	B	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
成果指標③	指標名・内容	グラウンドゴルフ大会やハイキングなど、スポーツ・レクリエーションの開催	
	令和元年度の目標	高齢者向きの取組みが多く、参加者も多いが、若年層向けの事業を開催する。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・9月19日開催の橋本市民グラウンドゴルフ交流会には、326名もの参加があった。 ・ソフトバレーボール大会等のスポーツ・レクリエーション事業には、若年層の参加が多かった。 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
課題・今後の方向性	・今後も引き続き事業に取組んでいく。		

重点的な取組	No.4 7	家庭教育支援相談室を活用し、福祉と教育の連携を深めま す。
	3-(4)-①	
担当部署	生涯学習課	
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援・子育て支援の団体の連携を推進します。 ・家庭教育支援・子育て支援等の団体が連携することにより、子育て等の悩みの解消に努めます。 	
	指標名・内容	「家庭教育支援相談室」の活用
	令和元年度の目標	部屋の稼働率90%を目指す。

成果指標①	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> 橋本市子どものための教育福祉連携会議や家庭教育支援チームへスティアによる会議、個別相談などで「家庭教育支援相談室」を使用した。 各団体の使用回数合計：170回 【部屋の稼働率】 170回÷365日＝46.6% (使用回数合計/日数) 	
	評価	D	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育支援チームの活用は多く見られるが、その他子育て等の団体の活用があまり見られていないので、当課が関係する子育て支援関係者等に部屋が利用できることを周知していきたい。 		

重点的な取組	No.48	学童保育の充実に努めます。	
	3-(4)-②		
担当部署	教育総務課		
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> 指導員の資質向上に努めます。 施設的环境整備に努めます。 学童保育の質的向上をはかるため、NPOへの加盟を推進します。 		
成果指標①	指標名・内容	学童保育の充実	
	令和元年度の目標	学童保育の施設不足について学校と協議し、解消を目指す。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> 橋本小学校、境原小学校、高野口小学校において、学童利用者が増加しており、令和2年度以降も待機児童を生じさせないために、学校と協議の上、放課後に教室を開放してもらうこととした。 三石小学校において、学童利用者が増加しており、令和2年度以降も待機児童を生じさせないために、学校と協議の上、専用教室を用意した。 	
	評価	A	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 運営団体と協調しながらより良い学童保育の発展を図る。 		

重点的な取組	No.49	学校プラットフォーム化の推進に取り組みます。
	3-(4)-③	
担当部署	学校教育課	
具体的な施策	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの課題を早期発見するため効果的なスクリーニングのあり方を研究します。 学校に福祉的視点を取り入れ、福祉サービスや地域資源を有効に活用する事例研究を進めます。 地域から子どもに関する情報が集まる仕組みづくりを進めます。 	

成果指標①	指標名・内容	学校プラットフォーム化の推進	
	令和元年度の目標	研究校を指定し、スクリーニング・ケース会議等の効果的なあり方について研究する。 福祉サービスや地域資源を活用し、子どもの課題解決に取り組む。	
	令和元年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・城山小学校、学文路小学校をモデル校として、スクリーニング・ケース会議を継続して実施した。 ・新たに紀見小学校、あやの台小学校、隅田小学校でスクリーニング・ケース会議を実施した。 	
	評価	C	A：達成 B：概ね達成 C：不十分 D：未達成
<ul style="list-style-type: none"> ・4校の教職員にスクリーニングによる子ども状況把握について学んでもらうことができた。（1校は学校配置のSSW中心に学校独自でスクリーニングを実施。） 			
課題・今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、橋本市内の5校（1校は独自）でスクリーニングシートの活用を行っている。スクリーニングチェックを行い、教職員間で意見交換を行うことは有効であったが、これをもとに、全校児童を把握し、「地域資源」や「専門機関」に振り分けてつなぐ、という点については今後の課題として残った。 ・有効な「地域資源」や「専門機関」が少なく、学校として児童をつなげていくという意識があってもつなげにくい。今後は、行政機関や地域人材とも子どもの課題を共有しながら、「地域資源」や「専門機関」を活用する道筋をつけていく必要がある。 ・スクリーニングシートを活用しそこから、学校を拠点として子どもを支援する「学校プラットフォーム化」につなげていきたい。また、その理念についてもひろく地域住民に広報していき、地域資源の拡充を図る必要がある。 ・スクリーニングシートの活用についてはマニュアル化し、活用希望のある学校に提供できるようにする。 		

◎ 共育コミュニティに関する有識者会議委員の意見

未来を担う子どもたちの成長を支えるために、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割を自覚し、互いに連携しながら、地域社会全体で子どもたちの教育を支援していくことが欠かせない。しかしながら、少子高齢化やグローバル化の進行により、地域社会のありようが大きく様変わりするなかで、地域社会における教育力の低下が懸念されている。こうした状況を背景に学校と地域社会はどのように協働関係を結ぶことができるか、また、両者の協働は子どもたちの豊かな学びを支えとともに地域社会や教育現場が直面している諸課題を解決に導くことができるかが問われている。

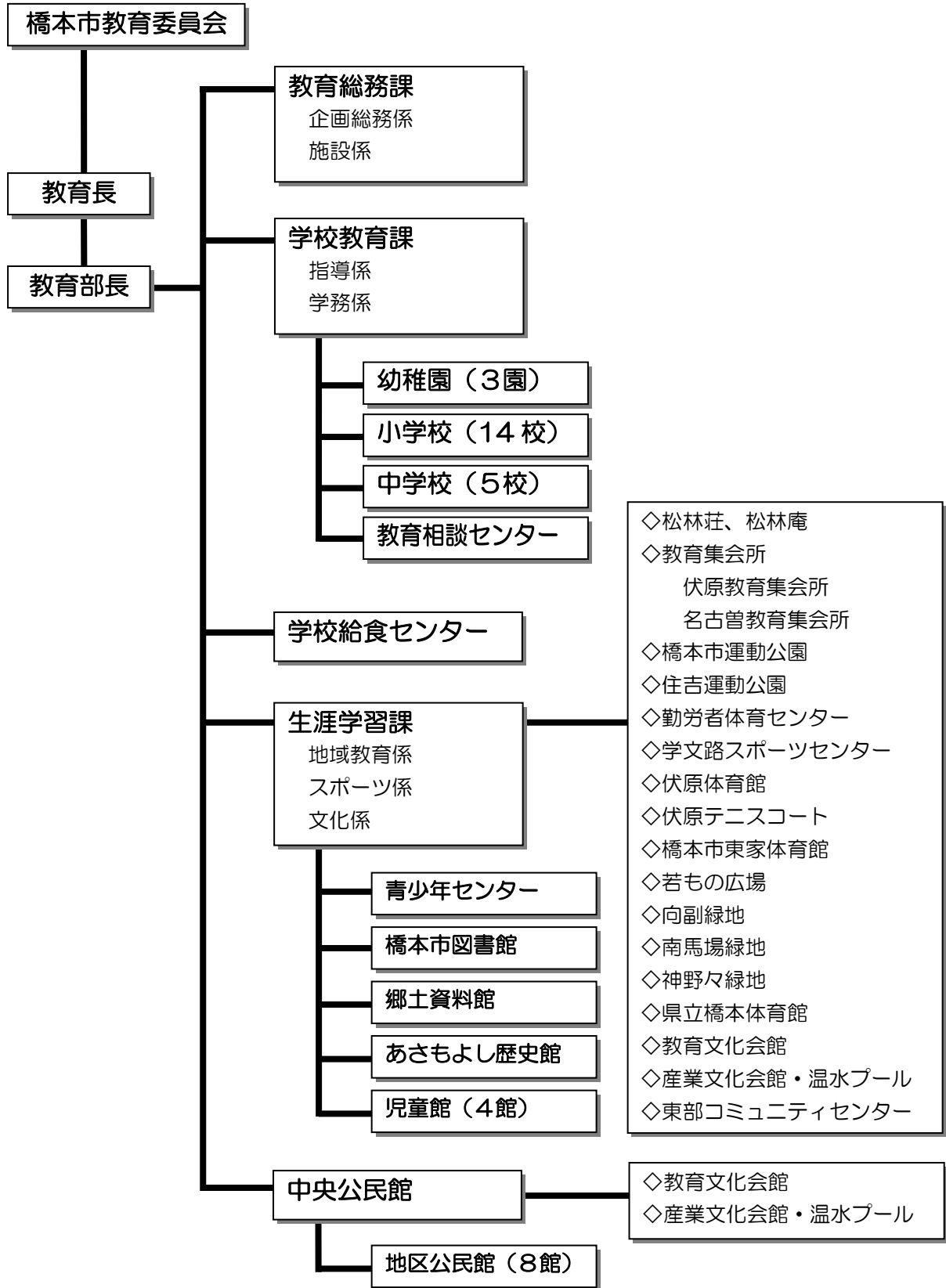
以上のような現状認識のもと、橋本市教育委員会が令和元年度に展開した生涯学習による人づくり・地域づくりのために市民のつながりを大切にした学校・家庭・地域社会の連携を促す取り組みの推進、とりわけコミュニティづくりに寄与する取り組みや実践を共有し活性化を図るとともに関係事業の持続を目指した検証を進められたことの意義は大きい。

今後においては、予算や人材の面で厳しい状況にある中で、保護者の理解・協力を得ることと、多様・高度な能力を要する地域共育コーディネーターを継続的に確保していく取り組みが必要と考える。

Ⅲ 教育委員会の活動状況

1 橋本市教育委員会機構図

(令和2年4月1日現在)



2 教育委員会の会議等の活動状況

(1) 橋本市教育委員会委員(令和2年4月22日現在)

職名	氏名	任期
教育長	小林俊治	平成30年4月25日～令和3年4月24日
教育長職務代理者	米田恵一	平成29年4月22日～令和3年4月21日
委員	田中敬子	令和2年4月22日～令和6年4月21日
委員	中尾悦子	平成31年4月22日～令和5年4月21日
委員	吉田元信	平成30年4月25日～令和4年4月24日

(2) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は、原則として毎月1回定例会を、また、必要に応じて臨時会を開催している。

- ① 令和元年度開催状況 定例会 12回 臨時会 1回
- ② 定例会及び臨時会の議案等件数 付議事項 13件 報告事項 43件
- ③ 付議等の主な内容
教育行政の基本計画・基本方針に関すること。
教職員の人事、服務に関すること。
附属機関の委員の任免並びに委嘱及び解嘱に関すること。
条例、規則その他教育委員会の定める規程の制定改廃に関すること。
教育委員会事務の管理及び執行状況の点検及び評価に係る公表等に関すること。
教育委員会の行う表彰その他の重要な表彰に関すること。

(3) 教育委員の活動状況(教育委員会会議以外の主な活動)

- ① 教育委員会連絡協議会総会、研修会等の各種会議に出席
- ③ 学校等において開催された研究会に出席
- ④ 小中学校運動会や文化・スポーツ行事へ出席
- ⑤ 表彰式、記念式典等に出席
- ⑥ 市立小学校、中学校の卒業式に出席

(4) 教育功労賞

次の部門において、著しく功績あった方に対し表彰を行い、功績を称えた。

- ① 学校教育部門 6名
- ② 社会教育部門 0名

IV 関連資料

1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)抜粋

第二十六条 (一部省略)

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 教育委員会事務の点検及び評価実施要綱

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第27条の規定に基づき、橋本市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価(以下「点検及び評価」という。)について、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の実施)

第 2 条 教育委員会は、毎年、教育に関する事務が橋本市教育施策の方針に基づいて適切に実施されているか点検するとともに、その成果及び課題等について自ら評価するものとする。

(学識経験者等の知見の活用)

第 3 条 教育委員会は、点検及び評価についての客観性・公平性を確保するため、点検及び評価の実施方法並びにその内容等について意見を聴取するなど、教育に関する学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(点検及び評価の結果の活用)

第 4 条 点検及び評価の結果は、教育施策の企画立案等、効果的な教育行政の推進等に活用するものとする。

(市議会への報告等)

第 5 条 点検及び評価の結果については、報告書を作成して市議会へ提出するとともに公表するものとする。

(その他)

第 6 条 この要綱に定めるもののほか、点検及び評価に関し必要な事項については、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年10月8日から施行する。